



第 12 号

編集・発行

富山県ソフトボール協会

広報委員会

小畔 治

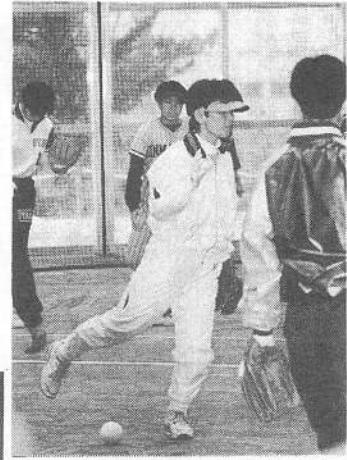
上新川郡大沢野町八木山67
TEL (0764) 68-1315
FAX (0764) 68-3060

指導者・高校生に 技術講習会

(平成4年12月20日岩瀬スポーツ公園ドームにおいて)

講演 「勝つためのチーム作り」

講師 日立高崎監督 宇津木 妙子



実技指導：宇津木妙子、小林良美
松本直美、小林京子 の4名



全日本選手からバントの技術指導を受ける県内のソフトボール選手

▼富山新聞(朝刊)十二月二十一日発行掲載紹介

宇津木監督が実技指導

県ソフトボール講習会

技術講習会と 講師の紹介

全日本チームの監督や選手を招いての県ソフトボール協会の技術講習会は二十日、富山市の岩瀬スポーツ公園ドームで開かれ、県内の高校生や指導者が参加、技術のみならずス

ポーツを取り組む心構えなどを学んだ。講師に招かれた日立高崎監督の宇津木妙子氏は昭和四十七年から十三年間ユニチカの選手として活躍、全日本チームの一員として数多くの国際大会にも出場している。六十一年からは日立高崎の監督として同チ

ムを日本リーグの一部に昇格させる一方、全日本チームの監督も務めている。

講習会は午前九時から富山北部高校チームの監督らを集めた指導者講習会から始まり、宇津木氏は選手の個性を生かしたチーム作りの大切さを強調、「信念を持つて指導にあたることが必要」と說いた。

続いて実技指導に入り、宇津木氏とともに日立高崎に所属し全日本選手でもある小林京子、小林良美、松本直美の三選手が高校生約八十人の指導にあたった。

講習はトレーニング方法から入り、ストレッチやサーキットの効果的な方法をたっぷりと学んだ。さらにバッテリー、打者に分かれての技術指導では、一人一人に細やかなアドバイスを贈っていた。昨年の国体では県チームは少年女子チームが3位の好成績を挙げており、選手ばかりではなく、県内指導者も全日本選手に疑問点を聞く場面も見られた。

(1) 講習会内容

指導者講習会 9時～10時
於 富山北部高校会議室

・講演 演題「勝つためのチーム作り」

・対象 小学、中学、高校女子監督、顧問、県登録チーム希望者

(2) 技術指導

於 岩瀬スポーツ公園ドーム

・10時30分～12時30分
トレーニング、キャッチボール、

フィールディング

・13時30分～15時30分

ピッ칭、バッティング、応用プレー

選手紹介

・小林京子(投手)

愛知県東海女子高校出身、世界ジュニア選手権出場。

・小林良美(捕手)

神奈川県平塚商業出身、世界選手権・アジア大会出場。

・松本直美(外野手)

石川県門前高校出身、世界選手権・アジア大会出場。

～S60年ユニチカの選手として活躍(S50年からは主将)
全日本代表選手、コーチとして国際大会に9回出場。

(2回)、全日本一般選手権(3回)、
全日本実業団選手権(4回)、日本リーグ第1部(2回)。

S61年日立高崎ソフトボール部監督に就任、翌年日本リーグ第2部に昇格。S63年日本リーグ第2部優勝、第1部に昇格。

現在まで監督として全日本実業団選手権優勝2回、日本リーグ第1部優勝1回、また、全日本チームの監督として国際大会に4回出場。平成4年度 全日本一般女子選手権で二度目の優勝!!

特集

第2回 2000年国体 ソフトボール競技会場地 決定市町村に聞く!!

(立山町・大沢野町・婦中町・黒部市)

『地元チーム 育成強化について』

立 山 町

立山町は一〇〇〇年国体並びに平成六年度全国高校総合体育大会の少年男子ソフトボール会場地になります。

前回の『特集』の中で、地元チームの編成が課題であると申しておりましたが、学校・町体育協会等の努力により昨年四月、地元雄山高等学校に男子ソフトボール部が誕生しました。創部一年目ながら、六月に石川県で開かれた全国高校総体北信越地区最終予選で、石川県・福井県チームを相手に僅差で負けましたが、本年こそはと全部員日夜練習に励んでいます。

当町では、ソフトボール招待大会を平成元年から実施しており、昨年は高校女子で最強レベルの夙川学院高校・星野女子高校等の参加をいただき、盛大に実施したところです。今後は、県外の男子チームを招きレベルアップを図りたい考えです。

本年は、六月十八日(二〇日に当町で開かれる平成五年度北信越高等学校ソフトボール大会兼H六総体の

リハーサル大会成功に向けて、町民が一体となって取り組むことにより、国体に向けて意識の高揚を図りたいと考えています。今後とも関係各位の温かいご支援ご協力を切にお願い申し上げます。

『小・中学校女子を 強化の重点に』

大沢野町

二〇〇〇年国体の市町村開催種目も決定し、各市町村では、施設整備や選手強化策、また町民の意識をいかに盛り上げるか、いろいろ腐心しているところだろうと思われます。

大沢野町では、一般男子は大変盛んであり、協会も確かに足どりで前進しています。

公認審判員や記録員も協会の努力で、有資格者も増えており心強く思っています。

こうした勢を選手強化等にいかに結びつけるかが大きな課題だと考えています。

『町民の理解と 協力を得る』

婦 中 町

今年度当町は、平成六年度の全国高校総合体育大会、二〇〇〇年国体ソフトボール競技のメイン会場として使用する婦中町スポーツプラザ建

去年から取り組んできました。

小学女子については、基盤がないため手さぐりの状態で、協会の指導員や学校の先生方にお願いし、五月より週一回指導に当たり十月末まで続けることが出来ました。

まだ、投球や捕球の基礎練習の段階ですが、今後も各方面から支援し、スポーツ少年団として、組織化し、その輪を広げたいと指導者の皆さんと話し合っています。

施設整備については、単に国体でソフトボール競技を実施するための会場ということではなく、二十一世紀に向けて、町民の健康・体力づくりや競技力向上のために、町のスポーツ施設はどのように配置するかというように、全体の整備計画の中で検討を加えて最適地を決定したいと検討しております。



設工事に入っており本年度の造成も順調に進み平成五年度の完成を目指して努力しているところであります。又、町民へのアピールと理解を深めるため町制施行五十周年記念行事の中に「町制施行五十周年記念二十時間マラソンソフトボール大会」を企画し八月二十二日(土)～二十三日(日)に助役キャッチャー、バッター議長、町長始球式で議会議員チーム対役場管理職チームの対戦をかわぎりに開催したところ体育協会役員、企業、商工会、中学生、高校生、スポーツ少年団、地域の仲間、ソフトボール協会登録五十六チームの参加があり盛大に開催できることは、町民の理解と協力が得られ審判員、記録員等の運営面においても大変有意義であったと思つております。

今後は、準備委員会を実行委員会に組織作りを早急にし、町民一体となつた歓迎体制、施設の整備に努力していく考えであります。

各支部の計画・方針や現況、チーム紹介やトピックス等をお知らせ下さい。

大山支部

ソフトボール愛好者が増える中で、昭和五十一年に第一回町民ソフトボール大会が開催され毎年、参加チームが増えてきた。昭和五十四年に当協会が設立され、今年で十四年に至っている。設立当時は、男子三十六チーム・女子八チームで、春季大会の優勝チームとのプレーオフでその年の優勝チームを決めていた。

昭和六十年からはもっとソフトボールを楽しみたいとの要望があり、四ブロックに分けてリーグ戦を行っている。大会が五月から九月にかけてナイターとなり、上滝小学校グラウンドと上滝中学校グラウンドで行っているが、現在十五チームと年々減少傾向にある。

向にある。当町には、グラウンドが少ないため学校施設で対応せざるを得ない状況にあり大会を運営するには会場が分散することになり、各位のご協力ををお願いします。



大沢野支部

春を迎えたとは言え、まだまだ寒い日があるこの頃ですが、ようやくグラウンドも乾きバットの音が響かしくなる頃です。大沢野支部も昨年末の納会より、球音からしばらくの間遠ざかっていましたが、三月の総会

の後、四月の春季トーナメント大会を皮切りにシーズンに入っていきます。

さて、シーズンに入ると専門部の活躍となるわけですが、今回はその中でもわが支部の記録部を紹介したいと思います。わが支部の記録部は、大沢野協会（連盟）発足してしばらく後、チームの記録経験者の何人かが集まって結成され、その頃秋に行われていた十数チームによるリーグ戦の記録を主に記録していたのですが、チーム数が増えるにつれ、リーグ戦が年間通して行われるようになり経験者を増やしながら、現在二十名近くの世帯となっています。昨年には、県協会の協力も受け公認記録員の認定会を大沢野で開催して頂き、八名の二種公認記録員も誕生し、より正確な記録を残せるようになります。

二〇〇〇年国体の成年女子の当地開催も決まり、「国体の記録は我々の手で」の意気込みで頑張っています。

井波支部

『オール井波』昭和六十三年に井波支部の設立と

ともに創立したのが、わがオール井波です。

活動も当初は、町内チームからの寄せ集めであり、もっぱら郡民体育大会の練習機関にすぎませんでしたが、一昨年に初めて県大会に参加。勿論、初戦敗退ではあったものの、せめて一勝をと、以来毎月の定期練習会を実施するようになりました。

その結果、昨年の協会加盟支部対抗大会では、見事準優勝に輝くとともに、砺波ロック大会においても、優勝という素晴らしい成績を収めることができました。

現在、わがチームは田中広志監督を先頭に、部員は二十名。年齢構成も二十歳から四十歳代まで幅広く、バラエティに富んだメンバーが揃っています。シーズンオフには、慰安旅行をはじめ、冬期には二泊三日のスキーツアーも恒例の行事となっています。シーソンのより一層の飛躍を期しています。

一番

北信越伝達講習会

開催される

二月二十日同協会は伝達講習会に合わせて事業計画・予算・日程などが協議され主な大会日程は次の通り

点が伝達された。

二十一日は同会館で記録員研修会、岩瀬運動公園健康スポーツドームで審判員の基本動作や改正点の実技チェックなどを行った。

富山県協会では四月四日(日)に富山市呉羽町花の木、西部農村環境改善センターで審判員伝達講習会を予定しており各支部関係者の勢力的な参加を希望したい。

尚第一種公認審判員認定会は富山市で五月八日～九日に決定した。

記録員伝達講習会は、三月二十八日(日)富山市で。

第三種公認記録員認定会を四月十一日、上市町「婦人の家」とした。

第三種公認審判員認定会を三月二十八日(日)魚津市、四月四日(日)八尾町で行われる。



平成5年度
北信越ソフトボール協会 審判員・記録員伝達

審判・記録員一三〇名が参加、全市・高志会館で北信越五県の役員・体講義の後、分科会で改正・問題十五日)を受けて去る二十日富山

▼全日本シニア選手権大会
10月15日～18日 富山県

▼全日本総合男子選手権大会
10月7日～11日 石川県

▼中日本女子リーグ
5月1日～4日 福井県

▼役員研修旅行

10月30日～11月3日

中国の上海・蘇州の方面の予定



掲示板

- 4月4日 総体リハーサル大会実行委員会
- 4月20日 報道関係者との懇談会
- 5月2日～4日 (婦中町)
高校女子強化大会 (総体リハーサル)
- 6月18日～20日 (立山町)
北信越高校総体 (総体リハーサル)
- 7月中旬
支部合同懇談会 (2回)
(会長, 理事長, 事務局長)
於 富山市
- おめでとう35周年
YKK男子ソフトボール部
心からお祝い申し上げると共に
さらなる御健闘を祈る!!
- 5月中旬 第2回理事会
- 7月中旬 第3回理事会
- 一般男女北信越予選会
6月26日～27日 小杉町
- 支部広報委員を
4月20日 必着
事務局まで TEL 0765-57-1639
FAX 0765-56-8888
広報委員会

タイベック[®]

防風透湿シート ハウスラップ

デュポン ジャパン



南陽株式会社



NAIGAI SOFTBALL 内外ゴム株式会社



KENKO SOFTBALL

ナガセケンコー株式会社



MIZUNO

ミズノ株式会社



マルエス ソフトボール

ダイワマルエス株式会社



ユニチカメイト
株式会社



がんばる人、応援します。
太陽スポーツ